

こんにちは 2017年3月30日 第135号

ちかざわ美樹です

日本共産党 市議会議員活動報告



chikamiki222@gmail.com

☎&fax 042-582-1870

☆自宅:日野市万願寺 6-35-9

カサベルデ 201

☆ちかざわ事務所(三沢中学校

のそば)日野市三沢 1-13-5

いつでも、どんなことでもお電話下さい ちかざわ携帯 ☎090-9313-1192

南平体育館「建替え」と「行革・負担増」は整合性なし！

建替え準備のための条例案に反対しました

3月28日市議会最終日、本会議で、委員会で審議された議案の採決が行われ、「日野市南平健康増進・スポーツ交流促進地区建築条例」に日本共産党市議団は反対、私は党市議団を代表して反対意見を述べました。意見は以下の通りです。

—・—・—・—・—・—・—・—・—・—

この条例は、南平体育館を建替えるために、特別用途地区により建築制限を緩和するものです。

南平体育館は設備が老朽化しており、トイレ、シャワーの改善、雨漏りの修繕、バリアフリーへの対応や建物の耐震性を心配する声が多く出されています。これらの課題については、早急な対応が必要です。

市は当初耐震補強をして使い続ける、という方針であったものをそれが困難であるという結論に至り、建替へと方針を転換しました。

このたび出された建替基本設計では、2020年を目標とし、早期建設に取り組み、建設費等は35億円を超えるとされています。

南平体育館の耐震化が、耐震補強ではなく建替で耐震化を実現するという結論に至るとしても、2020年オリンピックを前に

して人件費も材料費も高騰し、人手不足も懸念される時期にどうしても建て替えを行わなければならないのでしょうか。

市は今後、歳入を増やし歳出を抑えるために、第五次行革で市民にさらなる負担を求めるとしています。この方針と、2020年までに約35億円の体育館を建設することの整合性がとれているとは思えません。

市民のスポーツニーズにこたえ、市民のスポーツの場の整備と充実を行うことは市の重要な役目です。スポーツ・健康づくりの拠点として地域の体育館はたいせつな施設です。

ですが、そのコストは大きく、市町村独自の負担はたいへん大きなものになります。市町村だけが負担するのではなく、東京都に補助も求めて広域で行うことも検討すべきです。

オリンピック憲章の根本原則では、「スポーツをすることは人権の1つである。すべての個人はいかなる種類の差別も受けることなく、オリンピック精神に基づき、スポーツをする機会を与えられ(裏面へ)



ごみ広域化計画強行は許されません。白紙にして住民と一からの見直しを！

【日本共産党の無料法律相談】 第1.2.3木曜日予約制です

第1.3木曜日 18:00~20:00 第2木曜日 13:00~15:00



